

吹田民主商工会 いんぷお めくしよん

吹田市川園町20-1
TEL (06) 6383-2211
FAX (06) 6382-8190
http://www.suita-minshou.com
suita-ms@jasmine.ocn.ne.jp

毎週木曜日の
昼2時・夜7時
なんでも相談会

収支内訳書学習会

学習から確信をもって行動を

吹田税務署から「必要書類の提出について」として収支内訳書の提出を求める文書が送付されてきました。6日から勤労者会館やコミセンなどで学習会を行なっています。送付されてきた文書の特徴と問題点、収支内訳書の粘り強い運動の意義などが確認されています。また、16年ぶりに改訂された全商連の「納税者の権利宣言」について読み合わせによる学習し、全体について意見交流をしています。会場での特徴的な意見をご紹介します。



不動産関連の会員さん

送り付けられた収支内訳書の督促状は強圧的な感じがします。憲法のもと、主権在民で私たち納税者の権利は大切です。国家公務員は就職する時に、日本国憲法を守る宣言をしたはずです。私たちは力を合わせて運動しなければいけませんね。

建築美装の会員さん

督促状が初めて送られてきて、驚き不安でした。今日の説明を聞いて安心しました。

建築関連の会員さん

毎年説明は聞いているのですが忘れていました。改めて学習して収支内訳書の添付が任意だということがよくわかりました。

飲食業の会員さん

納税者の権利宣言から輸出大企業に莫大な消費税が還付されていることに腹が立ちました。私たちは消費税で苦勞しているのに。

建築関連の会員さん

消費税を集めているのに、国民や中小業者のために使っていないことが問題だと思えます

収支内訳書返還行動

- ① 6月18日(月) 昼2時 内本町コミセン
 - ② 6月18日(月) 夜7時 勤労者会館
- 収支内訳書の提出のお願い(督促)を返還する行動です。②でご参加の方は、返信用封筒(ご自分の住所、氏名を宛先で記載し、82円切手を添付)をご準備ください。

第39回大商連共済会定期総会

6月10日に大商連会館で大商連共済会総会が開催されました。吹田民商からは代議員として4名が参加しました。全商連共済会定期総会の方針に沿って「全会員・配偶者の加入を強め、健診の内容を充実させ助け合いの共済の輪を広げよう！」の方針が説明され、アメリカの保険会社がTPPの合意やアメリカからFTAを利用し、開放の名目で保険事業とみなして共済事業つぶしを狙う動きがあるなか、運動で自主共済を守りこの一年間で、2億4千6百万円の給付をしてきたことが紹介されました。規約の改正などでは健康診断、拡大組織建設、実務活動の事業継承の扱いの変更について説明されました。そして総会方針、財政報告、予算案、役員推薦案の採択を全会一致で採択しました。まとめとして、TPPやFTAに対する闘いを進め、自主共済を守るためには多くの仲間の力が必要であること、給付を受けることが目的ではなく健康に関心を持ち、そのための健診受診であること、結果として会員が安心して商売を続けることに役立つ仕組みとして共済制度が大切であることと説明されました。



吹田社会保障推進協議会

幅広い共同で福祉・社会保障の発展を

吹田社会保障推進協議会の第17回定期総会が吹田さんくす会議室で開催され、市民団体や労働組合など幹事団体から35名が参加しました。始めに阿部誠行さんから会長の挨拶があり、が歴代政権と比べても社会保障改悪に歯止めがないことを挙げられ、幅広い人たちと力を合わせて手をつないで運動もさらに広げるため、社保協の役割は益々大きくなっていると話しされました。来賓として吹田市議会議員の山根建人さん、大阪府議会議員の石川たえさん、杉江ゆうすけさん代理の秘書の方が参加されました。

記念講演では奈良女子大学の中山徹先生にお越しいただき「地域再編の方向性と問題点」をテーマにお話ししていただきました。中山先生はいま各地の自治体で少子化、人口減少に合わせて公共施設を減らすとともに、公共サービスの民間委託で行政コストを削減し、人口減少によって利益が減る大企業の利益確保する仕組みが進められていると取り上げられました。民間委託の弊害は住民が本来もっている選挙などによる意思決定の参加の仕組みが奪われて、公共施設や公共サービスの改善を求めることができなくなることだと指摘されていました。

総会報告では国保統一化や学校給食、障害者作業所の重度加算、福祉人材の確保の運動について各団体から報告があり、総会方針・会計報告・役員体制が満場一致で採択されました。

お買い物は地元市場商店街で・商工業者の繁栄は市民とともに！